

第 68 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

1. 日 時:2014 年 5 月 23 日(金)13 時 30 分～15 時 20 分

2. 場 所:日本機械学会 第3・4・5会議室

3. 出席者:(委員 23 名中、出席者 21 名(うち代理 3 名)、欠席者 2 名)

小溝(阪大)、藤田(MHPS)、飯田(東電)、木村(NIMS)、三好(川崎重工)、
松本(東芝)、佐藤(発電技検)、野井(ロイト)、長谷川(新日鐵住金)、三原(富山大)、
天野(早大)、岡(富士電機)、西川(自家発懇話会)、鈴木(電源開発)、
鈴木(電気協会)、桑野(関電)、五代儀(火原協)、高川(バブ日立)

代理者:小原[大橋(IHI)]、齊藤[奥村(中電)]、山崎[屋口(電中研)]

欠席者:松田(HSB ジャパン)、野田(経産省)

オブザーバ:茂田井(東電)、井手(東電)、鈴木(東電)

事務局:海野(記)

4. 配付資料

68-1 . 第 67 回火力専門委員会議事録(案)

68-2 . 専門委員会・分科会委員案

68-3 . 第 68 回規格委員会議事録(案)

68-4- (1) 材料分科会報告, (2) 構造分科会報告, (3) 溶接分科会報告, (4) 配管減肉分科会報告

68-5 . 専門委員会運営規約改訂提案

68-6 . 日本規格協会「圧力容器技術委員会」委員の委嘱依頼について

5. 議事

(1) 前回議事録確認

[資料 68-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

なお、前回審議事項で書面投票を実施することとなっていた委員会資料取り扱い内規案は、幹事会で課題・方向性を整理することとなり、再投票の実施についてはペンディングとなったことを報告。

(2) 専門委員会委員、役員の承認

(2-1) 専門委員会委員の承認

[資料 68-2]

火力専門委員会の以下の委員の再任意向および新任候補が報告された。挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で、次回規格委員会に推薦することが承認された。また、以下の退任委員が報告された。

・ 火力専門委員会:(退任)なし

(新任候補)なし

(再任候補)野井 伸悟 委員, 岡 美樹 委員

各分科会の以下の新任候補の推薦および以下の委員の再任意向および役員の互選による推薦が報告された。挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で承認された。

- ・ 材料分科会: (新任候補) 森 康範 氏 (新日鐵住金)
 (退任) 野口 岳雄 委員
 (再任) 俣野 岳生 委員
- ・ 構造分科会: (新任候補) 黒板 景 氏 (東芝)
 (退任) 島田 秀顕 委員 (5月末任期満了にて退任予定)
 (再任) 西野 悠司 委員
 (副主査候補) 西野委員 (再任)
- ・ 溶接分科会: (新任候補) なし
 (退任) なし
 (再任) 茂田井 悟 委員、山下 賢 委員、水谷 義弘 委員
 (幹事候補) 茂田井委員 (再任)
- ・ 配管減肉分科会: (新任候補) 増田 尚元 氏 (東京パワーテクノロジー)
 (退任) 山崎 隆之 委員 (5月末任期満了にて退任予定)
 (再任) 近藤 雅之 委員、朝倉 大輔 委員
 (幹事候補) 近藤委員 (再任)

(3) 規格委員会、分科会他報告

(3-1) 発電用設備規格委員会報告

[資料 68-3]

第68回規格委員会の審議内容のうち、火力専門委員会に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 規格委員会ホームページファイル共有システムの正式運用開始及び愛称として CS キャビネットを採用したことを報告
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-2) 材料分科会報告

[資料 68-4-1]

木村委員(材料分科会主査)が第71回材料分科会(H26.4.23)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は2014年8月4日(月)に開催予定。また改訂作業について次々回の分科会にて改訂原稿取り纏めを行う予定と報告された。

- ・ 審議履歴表を元にレビュー票審議の状況について報告された。
- ・ 高クロム鋼の許容応力を検証した結果、火 SCPH91 の非クリープ温度域の許容応力が ASME Code Case 2192 の値と対応しないため、調査して次回報告するとともに、新材料規格化分科会にも検討を依頼する。
- ・ →(コメント) 火 SCPH91 は火技解釈においては機械的性質について鍛造材準拠にて決められたようである(詳細は不明)。鑄造品質係数は使い易いように決めていった方が良い。

(3-3) 構造分科会報告

[資料 68-4-2]

飯田幹事(構造分科会主査)が第80回構造分科会(H26.5.16)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は2014年8月5日(火)に開催予定。また改訂作業についてレビューに3～4回はかかる見込みと報告された。

- ・ 正誤表の作成について
2012年版において誤記が判明したため、次回火力専門委員会に正誤表を提案する予定。
- ・ 材料分科会からの相談事項について
 - ・ ASME Section VIII Division 1, Subsection C, Part UNF の取り入れについて、各委員にて ASME 確認し次回審議予定。
 - ・ 第V章 123.1.2リストにない材料で参照している ASME Sec. II, Part D の本規格第II章への変更要否については、本規定が許容応力表に無い材料の使用を条件付きで許可する規定であることに鑑み、本規格に取り込んでいない材料がある ASME Sec. II, Part D を参照しても問題ない旨を回答予定。
- ・ 審議履歴表を元にレビュー票審議の状況について報告された。

(3-4)溶接分科会報告

[資料 68-4-3]

茂田井氏(溶接分科会幹事)が、第60回溶接分科会(H26.5.12)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は2014年7月23日(水)に開催予定。また改訂作業について3～4回でレビュー終了すべく作業を進める方針であると報告された。

- ・ 審議履歴表を元にレビュー票審議の状況について報告された。

(3-5)配管減肉分科会報告

[資料 68-4-4]

井手氏(配管減肉分科会主査)が第6回配管減肉分科会(H26.4.25)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は2014年7月25日(金)に開催予定。またレビュー作業についてはあと2回程度で取り纏められる見込みだが、新技術の取り込み提案についての審議予定を踏まえると、改訂原稿案の策定にはあと3～4回程度かかる見込みであると報告された。(配管減肉管理技術規格は火力設備規格と別規格であるため、他の分科会の予定時期とは合わなくても問題ない)

- ・ 火力設備配管減肉管理技術規格の親規格となる配管減肉管理に関する規格(JSME S CA1-2005)の改訂に向けた意見を原子力専門委員会配管減肉分科会に回答済み。意見対応待ち。
- ・ 火力設備配管減肉管理技術規格 2009 年版のレビューを行っており審議履歴表を元に審議の状況について報告された。
- ・ (コメント)必要最小肉厚を t_{sr} と表記しているが、現在ではあまり使われていない表記であるので、火力設備規格での表記と統一した方が良い。

(3-6)日本規格協会圧力容器技術委員会への委員派遣について

[資料 68-6]

日本規格協会より圧力容器技術委員会への委員派遣の依頼があり、飯田幹事を委員派遣する旨、回答したことを報告した。

(4) 審議事項

(4-1) 専門委員会運営規約改訂案について

[資料 68-5]

規格委員会運営規約が改訂され、専門委員会運営規約との差異が生じているため、原子力専門委員会より規格委員会運営規約との差異を比較検討し取り込んだ改訂案が提案された。火力専門委員会として書面投票(再投票)を開始するかについて審議され、挙手による決議の結果、書面投票の開始が承認された。書面投票は5/26(月)から開始予定。

主な改訂内容は、

- ・ 常時参加者の規定の追加
- ・ 挙手による決議の代替としてメール審議を明文化
- ・ 軽微な技術的変更の扱いの追加

(補足説明)

新しく設置される常時参加者は、規格策定の意志決定には参加しない方針となった原子力規制庁からの参加を踏まえたものであるが、特に対象者を制限するものではない。

6. 次回開催予定

日 時:2014 年 8 月 21 日(木) 13:30~17:00

場 所:日本機械学会 第1会議室

以 上